

5. 田植機

(1) 清掃中の事故

5. 田植機 (1) 清掃中の事故

20

エンジンを止めず側条施肥の田植機の清掃をしていた。水洗したが肥料カスがホッパ内の繰り出しロールにこびりついていたので、右手を入れて取ろうとしたところ、急に指が挟まれ、しびれた。
(平成26年5月下旬 午後3時頃 男性・66歳)

事故の概況

今期の3日間の田植えを終えた次の日、エンジンを止めないで乗用の6条植え側条施肥付き田植機の肥料ホッパの清掃を一人で行っていた。水で洗ったが肥料(粒状)のカスがホッパ内の繰り出しロールにこびりついていたので、右手(素手)を入れて取ろうとしたところ、急に右手示指の左側が繰り出しロールに挟まれ、しびれた。

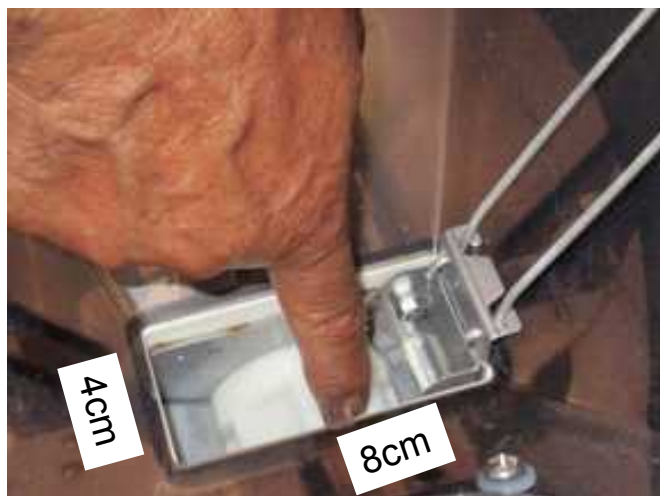
すぐに血は出なかったので、納屋から家に帰り、水洗いして市販薬を塗り、防水カットバンを貼って治療した。肉が盛り上がり1週間では治らず、2週間カットバンを取り替えながら自己治療し完治した。



田植機の肥料ホッパー

事故原因と対策

エンジンを止めないで作業したことが原因。水とブラシを使ってホッパを掃除することにした。点検時はエンジンを切る。2年に一度は個人のディーラーに点検整備してもらっていた。



肥料の繰り出しロール
(ロールの溝は横2cm×縦1.8cm)